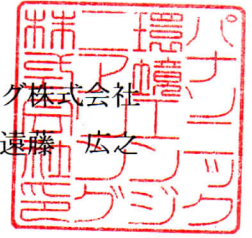


平成 26 年 10 月 24 日

愛知県新城市一鍛田区長
中西 忠史 様

パナソニック環境エンジニアリング株式会社
常務取締役 遠藤 弘之



回 答 書

拝復 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 26 年 9 月 28 日付の貴信「愛知県新城南部企業団地に建設が計画されている産業廃棄物中間処理施設について（照会）」にてお問い合わせ頂いた件につき、下記のとおり回答申し上げます。

敬具

記

Q1 貴社が(有)タナカ興業を見学・案内した施設は、具体的にどこどこの施設でしょうか。

A1 弊社がタナカ興業様を見学・案内した施設は、4ヶ所になります。

- ①農林水産省畜産草地研究所（茨城県）
- ②豊明市農業沓掛堆肥センター（愛知県）
- ③西脇市土づくりセンター 夢あぐり西脇（兵庫県）
- ④大栄環境株式会社 三木リサイクルセンター（兵庫県）

Q2 (有)タナカ興業が計画している新城の施設の処理量は 1 日 120t、新発田市の同規模施設の 3 倍ですが、貴社技術者のご回答どおり、悪臭を負圧で封じ込めた上で貴社の脱臭装置を使って完全に脱臭することは可能でしょうか。保証できますでしょうか。

A2 今回の 120 t 対応のタナカ興業様の施設に関しても、弊社の脱臭装置における保証範囲はアンモニアの濃度になります。脱臭装置が取扱説明書に基づく運転状況で、脱臭風量が 223.3m³/min 以下とし、脱臭槽入口アンモニア濃度 200ppm 以下且つ温度 40℃以下の時、出口アンモニア濃度（脱臭槽より上部及び周囲 1m）5ppm 以下という数値をタナカ興業

様に対して保証致します。「完全に脱臭する」という表現は定量的ではない為、弊社では上記の様にアンモニア濃度による数値保証をしております。

なお、一次発酵槽はビニールで囲み槽内を負圧とし、悪臭が外に漏れにくい構造になっております。

Q3 ㈱タナカ興業社長は、市議会（部会）で「ナショナルのロックウール脱臭装置の実績が全国で50ヶ所あり、その実績によれば完熟までに40日で十分と（貴社から）説明をいただいております。」と発言していますが、事実でしょうか。

新発田市の例を見ますと60日以上かけています。新城の施設において40日間で完全発酵させる事が可能でしょうか。保証できますでしょうか。

A3 弊社のロックウール脱臭装置納入実績は、国内で49ヶ所、海外で6ヶ所、合計55ヶ所になります。

堆肥化における二次発酵完了ⁱまでに必要な日数は、所定の廃棄物（脱水汚泥、動物性残渣）であれば、弊社設計で約40日間と考えております。なお、発酵促進システムを設計する際、原料の性状等が日々異なる為、弊社では発酵期間を保証しておりません。

脱水汚泥には窒素、リン等の肥料成分が多く、有機物も豊富に含まれており、畜糞の堆肥化に比べ発酵スピードも早く二次発酵完了までに時間を要さないと考えております。堆肥化の工程では一次発酵で10日間、二次発酵で30日間のトータル40日間で発酵できると考えるのが一般的ですⁱⁱ。

見学された、新発田市堆肥化施設ⁱⁱⁱについては、畜糞が主原料の為、一次発酵で約20日、二次発酵で約40日、トータル約60日間で発酵という考え方です。

Q4 新発田市の例からも、この種の施設は、メンテナンスと適切な運用が大切だと分かります。貴社にとっても、装置を納入した事業者がその性能を発揮させて、地域に迷惑をかけないことが貴社の設備の目的であり、社会的に責任を果たすことは、貴社のように有名優良企業においては特に大切なことではないでしょうか。今回、その責任を果たすことができますか。

A4 「地域に迷惑をかけないこと」や「社会的に責任を果たすこと」が大切であることは重々承知しております。弊社商品を、安全に正しくご使用頂く為の取扱説明を実施するとともに、適切な運用を行って頂くようタナカ興業様へ申し入れてまいります。

以上

ⁱ 一次発酵処理対象水分量が65%以下の時、二次発酵完了堆肥水分率55%以下を目標

ⁱⁱ 鹿児島市における下水汚泥堆肥化場の事例（以下のURL）ご参照
http://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou/index/s_sikumi/_31590/_31687.html

ⁱⁱⁱ 堆肥化施設と脱臭システムは別の設備であり、新発田市資源センター様へは脱臭システムのみ弊社納入